

普通だよ。だから酒飲んでる。わかるでしょ。嫌だから。これ今の今まで、忘れなさい。って言われてる。「忘れなさい」。子供産んで、忘れなさいはできないんだよな

聞き手Ⅱ加藤雄太

やばいでしょ。それをなんで言わなかったのって。

—直美さんは養子として引き取られたということですよね？

—養子縁組だった。施設からそういうところに。

—で、それまでおばさん（養母）とおじさん（養父）をお母さんとお父さんだと思っていたんだよね？

—うん。これを私が中学のときに言われて。

—それまでは気付かなかった？

—だって、気付かないって、向こうは知ってたってさ、うちにはね、なんにも教えてくれなかったんだもん。もう一人智子（直美さんと同じ家に養子として引き取られた）っていたのが、栃木から来てたの、には「私たちは本当の両親じゃないのよ」ってことを言ったくせに「あんたと智子は本当のきょうだいではないんだよ」って中学のときに言われて、向こう（智子）にだけ（本当のことを）喋ってなんでうちには言わないのってそれも喧嘩した。

—養子には直美さんともう一人いた。いつ会ったの？

—小学校のとき。

—姉妹だって言われてたの？

—そう。

—で姉妹だって思って接してきたの？

—そう。普通じゃん。うちが妹で、向こうが姉。

—じゃ、お姉ちゃんって呼んでたんだ。  
—そう、だからお姉ちゃんお姉ちゃんって言ってたにもかかわらず、全然違ったってことなんだよ。でも施設から来た人たちってのはみんなそうなんだよ。びっくりだよ。

—でもおかしいなと思ったのが、小学校で向こう（智子）が喋ってるのを私黙って聞いてて「何で本当のこと言わない？」（って尋ねたら）「何の話？」ってとぼけるから、私と大喧嘩になった、中学のとき。「あんたたち何考えてるの？」って口から爆発して、大暴れしてやった。普通でしょ。したらはぐらかした。全部、何もかも、向こう（養親）の言いなりになってた。「私はあんたたちの機械じゃないんだ」って。ね、やるだけのことやって、ね、おばちゃん（養母）がね、したことが、あんたに振り回されてたんだから、こういうことはしますよって感じだった。養育家庭だと、施設から預かった子っていうのは申請すると国から一八歳までお金が支給されるから—だから二人（直美さんと智子）を養子として家に？

—うん。吉田智子の実の母親は、生きててね、お兄さんもいるのに「この子（智子）を受け入れられない」って。それで施設へ送っちゃったわけ。児童相談所へ。

—で私は私で、あの、まだ赤ん坊で、タオルにくるまれて外に置かれてた。下手すりゃ死んでた。うん。かわいそうだったよな。そこ

を引き取ってくれたのが、北海道の人だったわけだ。そこから施設預けられて一年、二年いたのかな、違うよ、児童相談所から、施設入り込んで、一、二年いて、二年間いて、一年のときはだから、いや違う、一年くらいしかいなかったんだ、たぶんうち。ほんとに短かった。うん、で児童相談所へ行ったのが、一年くらいだ。幼稚園一年生。

—その記憶もあるんだ。  
あるよ。

—そのときはご飯とかどうしてたの？  
相談所。

—お父さんお母さんはどこって考えたりもしてた？  
自分が母親だって言い方だった。

—あ、相談所の人も自分が母親代わりだよみたいな言い方なんだ。

—そうそうそう。だけどそのあと引き取ってくれた人が岩手の人で、私はこの人たちを両親だと思ってたの。

—お母さんって言われたら、そりゃ信じるよね。

—普通でしょ。だって小学校から、会社の寮じゃないけど、そこに住み込んで、そこから学校まで三〇分以上永遠に歩くんだよ。すごいんだよ。朝なんか、遅れると自分で行くんだけど、まだかまだかまだかって着かなかったんだから。三、四〇分歩くんだよ、まだあるのーみたいな感じだった。

—都会にいて、田舎の学校通ってるみたいだった。周り何もなかったの。幼稚園がまわりにあって、その横に研究室があって、そこで遊んで、えれえ怒られて。お仕置きだって言われて、その跡がこれだよ（左手の甲にできた傷跡を指差す）。お灸据えられて。

—え、痛い。

—うん。そっちに入っちゃいけないって言われてただけで、池ぼちゃになつて遊んで、入ったらお灸据えられた。

—悪さするとういうことなるんだよって（養母が）えれえ怒ってたよ。もうそのときにはほら、おじさん（養父）も亡くなった。なんで亡くなったかって言ったら、一般人に射殺された。

—え、養親のおじさんが？

—うん。はるか後になってからなんだけどね、聞いたのは。まあでもね、施設の人ってみんなさういうもんなんだ。親だと思つて騙されるの。「お前にはまだわからんわ」って言われて。

—何その言い方みたいな。私がそこで暮らしてて、その言い方されたのが一番嫌だった。それにもう一人のその吉田智子ってのはうちにもなんにもやらなかったからね。えらい怒ったよ。こっちは進んでやるんだよ。頭きたけどね、全部ひっくり返してやったよ。皿は割るわ、ガラスは割らなかつたけど。

—一応（智子を）お姉ちゃんと思つて接してたんだよな？

—うん、だけど、同い年だったから。学年も一緒だったの。「似たような顔してんだから、丁度いいでしょ」ってそんなふうと一緒にさせられてんだよ。悪質だべ本当に。「相当騙してくれるねこのおじさんもおばさんも、意味わかってないの私だけでしょ」って（言ったら）「いやお前がわからんでも私たちが知つてたらそれでいい」って。「じゃ何うちは？」って。ね、「いいよ、それで地獄見るのそっちだからね。何がクリスチャンだよって話だよ。そうやって人騙しておいて、ね、生活保護だ、あの、里親の権利もらつたんだって、随分ひでえことするね」って私は言った。「大人になつてみねえとわからんぞ」なんて言われたけどね。

—大人になつてみないとわからんなんてさ、なんで（本当の親でな

(……)